

普及活動情勢報告（令和6年9月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

集落営農組織の課題解決に向けて ～令和6年度高南地域集落営農組織代表者連絡会～



普及所からの情報提供

9月6日、四万十農協会館において高南地域の18集落営農組織と関係機関合わせて55名が集まり、「高南地域集落営農組織代表者連絡会」を開催しました。

始めに、（一社）黒潮町農業公社からドローン防除による組織間連携等の取組事例を紹介していただきました。

普及所からは地域の現状を踏まえた組織のあり方や、水稻栽培（飼料用米知事特認品種、雑草管理の省力化）の情報提供を行いました。

参加者からは、「ドローン防除を個人で委託可能か?」「米価の情勢を見ながら知事特認品種を検討したい」など、前向きな意見がありました。

今後も関係機関と協力して、集落営農組織の課題解決につなげていきます。

酒米「吟の夢」の適期収穫に向けて ～JA高知県四万十酒米生産部会～



酒米の生育状況を参加者で確認

9月3日、JA高知県四万十酒米生産部会（吟の夢）の収穫前現地検討会を開催し、生産者10名が参加者全員のほ場を巡回しながら活発な意見交換を行いました。

普及所からは、適期収穫の重要性や出穂後の積算気温による収穫時期の目安を説明しました。生産者からは、「収穫時期が早いと青未熟粒、遅いと胴割粒や穂発芽が発生し、品質低下につながることを再認識できた」「高温予報で収穫時期がやや早くなる可能性があり、適期収穫に注意したい」といった声が聞かれました。

普及所は、今後も管内の高品質酒米安定生産を支援していきます。

新規就農者の経営安定に向けて ～農業次世代人材投資資金活用農家の巡回～



十和地域のほ場を見ながらの意見交換

8月下旬から9月上旬にかけて、関係機関や先輩農業者などの新規就農者サポートチームメンバーで、四万十町内の農業人材投資資金経営開始型活用農家17戸を巡回しました。

今年は酷暑のため高温や水不足などによる生育障害が見られるほ場もありましたが、概ね順調に栽培管理されていました。

農家からは、病虫害や鳥獣害対策、今後の規模拡大に向けた質問があり、先輩農家やJA職員などの話を熱心に聞いていました。

今後も関係機関と連携して、新規就農者への経営安定支援を行っていきます。



土壌分析実習の様子

9月11日と18日、就農5年目までの新規就農者や農業研修生を対象とした農業基礎講座を開催し、のべ9名が参加しました。

講座は普及所職員が講師となり、「土作りと肥料の基礎知識」、「病虫害と農薬の基礎知識」のテーマで2回にわたり、座学に加えて参加者が持ち込んだ土壌の簡易分析など、実習を交えて行いました。

参加者からは、土壌分析結果の活用方法や有機栽培における管理方法などについて活発な質問が出ていました。

普及所では今後も基礎講座などを開催し、新規就農者の支援に取り組めます。